

IVR を使用した Auto-Attendant プロンプトの録音

目次

[概要](#)

[独自の自動応答音声ガイダンスを録音する方法](#)

[関連情報](#)

[概要](#)

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

[Q. 独自の自動応答音声ガイダンスを録音する方法](#)

A.

SPA-9000 には、最大 10 個の着信コールを処理可能な内部自動応答が付属しています。AA には予約済みのユーザ ID "aa" が割り当てられます。AA は、自動的に、外部/内部の着信コールにグリーティング メッセージ (発信者が適切な部署を選択したり、既知の内線番号に到達したりできるようにするダイレクトリ メッセージ) で応答することができます。

IVR を使用した自動応答音声ガイダンスの録音

ここでは、IVR を使用して自動応答音声ガイダンスを録音する方法について説明します。自動応答音声ガイダンスを録音するには、IVR メニューから次の手順を実行します。

ステップ 1 :

SPA-9000 に接続されたアナログ電話機を使用して「****」を押します。

ステップ 2 :

音声ガイダンス「Linksys 設定メニュー。オプションを入力して最後にシャープ キーを押すか、電話を切って終了してください」が流れるまで待ちます。

ステップ 3 :

「72255#」を押して自動応答メッセージの設定にアクセスします。「メッセージ番号を入力して最後にシャープ キーを押してください」という音声流れるはずですが。

ステップ 4 :

録音、確認、または削除するメッセージの番号を入力します。「録音する場合は 1 を、確認する場合は 2 を、削除する場合は 3 を、終了する場合は星印を入力してください」という音声流れるはずですが。

ステップ 5 :

電話機の "1" を押して新しいメッセージを録音します。ユーザがこのオプションを押すと、IVR

が使用可能なバッファ サイズをチェックします。バッファ スペースが足りない場合は、IVR が「オプションが失敗しました」というメッセージを再生して、前のメニューに戻ります。バッファ スペースが十分な場合は、「発信音の後にメッセージを録音することができます。終了したら、シャープ キーを押してください」という音声流れます。

ステップ 6 :

新しいメッセージを録音して、"#" キーを押します。メッセージを録音し終わると、「保存する場合は 1 を、確認する場合は 2 を、録音をやり直す場合は 3 を、終了する場合は星印を入力してください」という音声流れます。

ステップ 7 :

"1" を押して新しい録音メッセージを保存します。

注: 録音した音声ガイダンスが 15 秒を超えていた場合は、IVR が「少しお待ちください」という短いメッセージを再生して、保存プロセスが完了するまで数秒待つようにユーザに通知します。

デフォルトの音声ガイダンスの 1 ~ 4 と 5 ~ 10 は空白です。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)